

大樹

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第18号

令和3年12月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
TEL (087) 870-1212 (代)



繋がり

翠丘会会長
松原 文子 (高松市社会福祉協議会)

香川県立保健医療大学同窓会会員の皆様へ

日頃より、本同窓会翠丘会の発展の為にご理解ご協力を頂き、誠に有難うございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年も総会など様々な活動の制限を余儀なくされました。しかし、皆様に年に一度の会報誌「大樹」を通して、在校生や卒業生が、地域の保健医療専門職としての矜持で繋がっていることを誇らしく感じております。

本同窓会は平成15年に創立し、本年で18年になります。香川県立保健医療大学では、次年度からは保健師と助産師の教育課程を大学院で行うなどの一層の拡充予定です。

私は、先日ある中学校で、がん予防健康教育のお話をする機会がありました。真剣な眼差しで、一心に聞き入ってくれる生徒さん方の様子から、彼らの30年後の未来は、定期検診だけでなく生活習慣病予防に努めながら、夫々の人生の目標に向かい、「健康」を大切に暮らしているのだと希望を持ちました。また、生涯を通じての継続的な健康づくり教育の必要性和意義を改めて感じました。

かつて、公衆衛生を『みんなの命をまもること』と名付けた長与専育や、日清戦争後の20万人余りの帰還兵を「検疫」の成功により、感染症等の全国への蔓延防止を成功させた後藤新平などの公衆衛生行政の先駆者がいました。彼らから脈々と受け継がれている衛生行政と共に、住民自らが健康を守る力、言い換えれば、地域の公衆衛生意識の高さの、その両輪で努力し続けてきた日本の歴史をふと思い起しました。

昨年の今頃は、コロナ禍の中で鬱々としていましたが、今年は、「我慢」も2年目となり、新しい生活様式にも慣れてきました。とはいえ、今年の5月には「何時になったら予防接種が受けられるのか」と不安で一杯でしたが、気がついてみれば7月初旬には2回目の接種が終了していました。

今日(11月17日)、政府は、先進7か国の中での予防接種率はカナ

ダを抜いて日本が1位、さらに11月末には接種を希望する人が、ほぼ接種完了の見通しと発表していました。一方で、新型コロナウイルス感染症は収束しておらず、第6波にも備えなければなりません。世界中でも感染拡大していますし、失業・貧困・精神的ストレスなど様々な社会経済問題が顕在化しており、医療・介護現場の厳しさは続いています。

しかし、それでも私たちの暮らしの変化はありました。いつしかマスク・自粛生活も生活の一部となり、以前より、ほんの少しゆったりと暮らし始めているのは私だけでしょうか。今までやり過ぎていた自然や季節の移り変わりにも目を細め、虹や満月を見つけては友人と知らせ合い、ベランダの手すりの朝露や部屋の奥まで届く夕陽の暖かさにも気づけるようになりました。急ぎすぎた生活を見直す新しいものが、うっすら見えてきたように感じます。

本会の活動も、来年の5月には対面での総会を予定しています。コロナ禍でも様々な行事を工夫しながら進めて参りたいと考えています。また、SNS等を通じての同窓会活動の見える化、例えば、同窓会会員のコミュニティサイトを新たに開設し、大学祭や研修活動、総会、会員の近況などの様々な紹介や動画配信などをすることで、同窓会をもっと身近に楽しく元気にしていけたらと思います。

さらに、2023年5月には5年ぶりの同窓会名簿作成を計画しております。皆様方には、是非ご協力を宜しくお願い致します。

今の時代だからこそ、公衆衛生に関わる保健医療の専門職として、人の温もりがなくてはならないものを見極め、自分自身も幸福であるように、他の人々と共に生きていく未来を考えたいと思います。

最後に、本同窓会の運営にご尽力くださっている大学関係者の皆様方に心よりの感謝を申し上げますとともに、会員の皆様方がお健やかに過ごされますよう心からご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。共に頑張ってまいりましょう。

卒業生

Message



「帰ってきた原点 さあここから」

保健医療学部
看護学科 2回生
香川県立保健医療大学助手
横井 麻衣子

「外科ならICUやろ」と言われて配属希望にICUと書いた22歳の春。アッという間に新人時代を終え、気づけば在籍10年越えの古株に。

さてこれからどうするかと考え始めた頃「大学で臨床の看護師に教えてほしいって話があるけどどう？」と勧められ母校に戻ってきた34歳の春。来る波に乗り自然のままに流され、されど沈まず看護という大海原を泳いできました。

臨床から離れて、看護の基本に立ち戻った感想は「看護って深い」の一言です。人間相手の仕事なので、良くも悪くも自分という人間に左右される仕事です。業務はできても気持ちがない看護師は好かれません。学生には知識だけではダメなんだと伝えていきたいと思っ

ています。

そしてもうひとつ、来年から本学の大学院博士前期課程に進学します。「研究なんて知らない」と避けて通り続けた病院時代には想像すらしなかったことです。自分でもびっくりしています。来春からは、もっと看護を学びたい・臨床にあるなぜを解明したいという想いを胸に研究の基礎を学んでいきたいと思っています。

最後に、2回生のみんな元気ですか。あんなに授業中ウトウトしていた・実習ボロボロだった私が今大学で先生をしています。時間の流れは怖いですね。卒業式に歌った「栄光の架け橋」を今も励みに頑張っています。看護に悩んだらいつでも母校に帰ってきてください。今も昔も変わらず、頼もしい先生方が待っていますよ。



「臨床検査技師として働いてみて」

香川県立保健医療大学大学院
保健医療学研究科 臨床検査学専攻
博士前期課程 1年
KKR高松病院
梶原 一貴

本学を卒業して2年が近づいています。今回は、本学に入学してから現在に至るまでの臨床検査技師として働くことに対する考え方の変化について記していきたいと思います。

入学から3年次の夏頃まではきちんと単位を取得して4年間で卒業することや、国家試験に合格することを考えており、臨床検査技師として働くことに関してはあまり深く考えていませんでした。自分の大学卒業後の進路についてしっかり考え始めるきっかけとなったのは、3年次の臨地実習でした。自分の知識不足を痛感し、あと約1年半で働くようになることに対する不安を感じた一方で、学内実習ではなかなか体験できないようなことも体験させていただいたこともあり、多くのことが新鮮で楽しかったです。臨地実習前は就職先を考えるとときに給料や福利厚生を重要視していましたが、臨地実習を終えてからは様々な症例を経験できる急性期病院に就

職したいと考えるようになりました。4年次の卒業研究では、思い通りにいかないことも多々ありますが、研究の楽しさも知り、大学院への進学も考えるようになりました。最終的には学費などの経済的な負担も考慮して、就職することを決めました。

そして、実際に就職してからは学生時代に先生方がおっしゃっていた日々勉強することの大切さを感じています。責任をもって検査を実施するためには、責任を持つために必要な知識を習得しなければなりません。そのため、日々の業務の中で生じた疑問やわからなかったことは新しい知識として習得できるように努力することが大切だと感じています。

現在は、就職して2年目ですが、今年度から大学院の博士前期課程に通っています。仕事と研究の両立は大変ですが、多くの方々の協力もあり、充実した日々を送ることができていると思います。修了まで残り1年半あるので、臨床検査技師としてワンランクアップできれば良いなと思っています。



「大学での学習が私にもたらした変化」

保健医療学部
看護学科 2年
唐川 結衣

私は、2021年の新型コロナウイルスが流行し始めた時期に入学した、保健医療学部看護学科の二回生です。私は、もともと看護師を志して入学したわけではなく、健康に興味関心があり、担任の先生から勧められた本学を受験し、進学しました。入学当初、新型コロナウイルスの影響でほとんどの授業がオンラインに変更され、友達がなかなか来ず、初めて一人暮らしをする私にとっては不安な日々が続いていました。また、明確な目的や目標を持っていない私にとって、一回生の間に学ぶ今後の学習の基盤となる学習内容は、楽しいと思えるものではありませんでした。

しかし、日々様々な分野の授業において、受動的な学習や個人課題だけでなく、グループワークでの意見交換や学習成果の発表を通して、だんだんと看護への理解が進み、それぞれの教科が関連していることを実感

するようになりました。また、新型コロナウイルスの影響で、一年時は学内実習のみで、二回生の夏にようやく一週間だけ行くことが出来た臨地実習では、実際の病院でしか感じられない緊張感や不安、達成感があり、今の自分を見つめなおす機会となりました。このような日々の授業や、臨地実習などの経験は看護に関連した知識や技術の習得だけでなく、看護の奥深さや面白さを教えてくれます。現在では、入学当初の自分とは看護の捉え方が大きく変化したことを実感すると同時に、自身の価値観までも変化しているという事実に驚きと嬉しさを感じています。

私は、現在でも、なりたい職業は明確に決まっておらず、様々なことに関心があります。以前は、そのことをあまりよく思っていませんでしたが、現在では、明確な目的や目標がなくても、目の前のことに一生懸命に取り組むことも重要なのではないかと感じています。進学や、就職その他の選択肢も視野に入れながら、目の前のことに真剣に取り組む、その中で、自分自身を振り返り、分析しながら自分の重視するものを見出していくことが出来ればよいと思っています。



「将来の夢」

香川県立保健医療大学大学院
保健医療学研究科
臨床検査学専攻
博士前期課程 1年
川上 竣誠

私の将来の夢は臨床検査技師になることです。また、この職業の業務は多岐にわたり、その中でも臓器や組織を遺伝子レベルまで掘り下げて検査し、疾患の診断を行う分子病理学に私は特に興味を持っています。

私が遺伝子の分野に大きな関心を持ったきっかけは高校の生物の実験で遺伝子の塊である染色体を見る実験を行ったことです。私は染色体がとても小さく特殊な機械を用いないと見るができなと思っていました。しかし、普通の光学顕微鏡を用いることで実際に染色体を見ることができたことに驚き、遺伝子についてもっと知りたいと考えるようになりました。そして、高校3年生の時に自分の進路について考えていく中で顕微鏡を使って検査を行う臨床検査技師という仕事を知りました。この仕事では顕微鏡で血液や細胞を観察するだけではなく、心電図やエコー等で患者さんに直接検査を行うこともできます。さらに遺伝子検査にも関与していることから、この仕事に興味を持ち、臨床検査技師になりたいと思いました。

香川県立保健医療大学の臨床検査学科に入学してからは、現在行われている遺伝子検査について学び、医

療の現場において様々なことに用いられていることを知りました。分子病理学的検査に用いられる例として、HER2遺伝子というものがあります。HER2遺伝子は再発乳がん患者の2～3割に変異が見られ、分子標的薬（HERCEPTIN）の投与に対して効果のある患者を抽出することに利用されています。他にも結核菌検査では通常、菌の検出に6～8週間かかりますが、分子病理学的検査では1～3日で結果を出すことができます。また、子宮頸癌の原因となるHPVウイルスの型の判定にも用いられており、子宮頸癌を引き起こす可能性のある16型と18型の検出をPCR検査によって判定することができ、早期治療に繋げることができます。このように分子病理学的検査は幅広く用いられており、今後はさらに遺伝子解析による原因の究明、治療といった活躍する場面がさらに増えてくる可能性があるため、私はこの分野に力を入れて学んでいきたいと考えています。また、私はまだ病院で勤務するか、研究施設で勤務するかははっきり決めていません。病院に就職すると自分の関心のある分子病理学的検査そのものができるとはかぎりませんが、どの部署に配属されても活躍できるように分子病理学以外の分野で必要な知識や技術等も実務を意識して身につけていこうと思っています。そして将来、分子病理学だけではなく、様々な分野にも対応できる臨床検査技師になりたいと思います。

コロナ禍における大学教育



香川県立保健医療大学 学長
井伊 久美子

新型コロナウイルス第5波が猛威を振るい、香川県でも医療提供体制等のひっ迫した状況がありました。本学では、看護学科教員が宿泊施設の夜間対応に当たるなど専門職として可能な協力は行いつつ、一方で学生及び教職員対象にワクチン職域接種も実施し、様々な制約が生じる中でも、できることに1つ1つ対応してまいりました。

10月に入り新規感染者数が減少し、少し安どする状況ですが、この間、本学においても実習の変更や学内の感染防止策等様々な工夫をして教育を継続しました。けれども、教育への影響は多大で、特に遠隔授業については大きい変更であり、コロナ禍でなければ遠隔授業を開始することは

無かったと思います。当初、事前の準備が無い状態で遠隔授業の開始でしたので、教員も学生も不慣れな中ストレスもありましたが、遠隔で行うメリットも活かしながら進めてきました。現在では教室の調整や演習・実習計画等とあわせて、その利便性を享受し、より効果的な授業形態として積極的に活用しております。

一方保健医療専門職教育としては対面授業が基本と考えております。教室の換気やソーシャルディスタンスに細心の注意をし、コロナ禍においてもほぼ対面授業を継続することができました。また特に臨地実習は必須ですが、多くの実習施設に多大なご配慮をいただき、現在ではほぼ通常通り実習を行っております。

おかげさまで本学においては、現時点で感染者0です。今後とも十分な注意を払い、見送っていた学生生活動も可能な限り行いたいと考えております。

新型コロナウイルス対策とともに、地域の保健医療専門職の拠点として機能するべく、しっかり研鑽を重ねたいと考えております。ご支援ご指導いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年度同窓会看護学科卒業生調査

進路支援委員会 舟越 和代

2020年度、進路支援委員会では、同窓会の協力を得て看護学科の卒業生の動向調査を行うことができました。貴重な資金を援助いただきありがとうございました。また、調査にご協力いただいた卒業生の皆様に感謝申し上げます。

76名の方から回答があり、呼吸療法認定師、訪問看護認定看護師等の医療に関連した資格を取りキャリアを積んでおられる方、また、さらなる資格取得を目指して転職された方もいらっしゃいました。卒業生の皆様が医療の様々な場で活躍されている状況が示された調査結果でした。今後、看護学科では、社会で活躍されている卒業生との交流の機会を増やしていき、同窓の方達の絆が強まることを願いたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願い致します。

国家試験合格状況

多くの学生が県内の医療機関や施設に就職しました。

種 別		看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
令和2年度	受験者数	71人	21人	8人	20人
	合格者数	71人	21人	8人	18人
	合格率	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%
	全国平均	95.4%	97.4%	99.7%	91.6%

* 合格率の全国平均は、新卒者のみの全国平均です。



Webオープンキャンパスの実施

広報・公開講座委員 臨床検査学科 助教 近藤 明宏

新型コロナウイルスによる感染拡大の中、2020年度に引き続き今年度もWebオープンキャンパスを2回（7月10日、8月28日）開催いたしました。学長挨拶、看護学科・臨床検査学科・大学院の紹介、入学試験の説明、在学生による学生生活の紹介に加え、本年度も両学科の有志6名によって作成された「学生大学案内ツアー動画」によって施設設備の案内、授業の様子や学生生活の紹介をしました。参加者から「動画によって本学の校内や実習の様子を具体的に知ることができ、とても分かりやすかった。」や「実習の様子がとても楽しそうで、香川県立保健医療大学に入学したいと感じた。」という感想が多数寄せられ、大変好評をいただきました。来学型でのオープンキャンパスの実施が難しい状況でしたが、このWebオープンキャンパスによって本学に興味を持っていただき、臨床検査技師、看護師、助産師、保健師を目指して多くの方に受験していただければ嬉しく思います。



健康サポーター養成講座

臨床検査学科1年 河田 花奈

2021年10月16日（土）に本学で健康サポーター養成講座を実施しました。本活動では健康サポーター活動の一環として1、2年生が中心となり地域の方々に対して健康測定や健康に関するテーマのポスター発表が予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により学生同士のみでの健康測定や発表会となりました。

午前中に行われた健康測定の技術練習では、学生がお互いに体組成、腹囲、骨密度、血圧、SpO₂、脈拍の項目を測りました。正しく測定する技術やデータの解釈を学び、自分自身の測定結果を用いてアセスメントを行いました。午後には、健康教育の発表会を行いました。6つのグループに分かれて、「マスクによる肌荒れ」「知っていますか？肉の栄養と役割」「身体の骨」「身体に悪いカビを減らそう」「毎日の食事で効率よく成長する方法」「ゲーム依存を解消しよう！」のテーマで発表を行いました。学生たちはより分かりやすく伝えるために小道具を作り、ポスターのレイアウトや発表の音量・スピードを工夫していました。聞き手側の学生も積極的に質問や感想を述べていました。

今年は学生のみでの実施となりましたが、来年は地域の方々にお越しいただき、実施することができるよう願っています。



令和2年度収支決算

令和3年度収支予算案

収入の部			内訳	
	2年度予算額	2年度決算額		
会費収入	1,835,000	1,835,000	新入会員77名(在校生1名、卒業生1名含む)	
雑収入	500	7	利子等	
繰入金	422,623	422,623		
積立金からの移動	0	0		
その他	0	3,870	同窓会名簿売上金	
合計	2,258,123	2,261,500		
支出の部				
会議費	150,000	36,400	総会 0回	
(1) 総会	0	0		
会場代	0	0		
講演費	0	0		
軽食代	0	0		
雑費	0	0		
(2) 役員会	150,000	36,400	役員・評議員会 1回	
旅費	60,000	14,000		
軽食代	90,000	22,400		
事業費	420,000	429,691		
(1) 会報誌発刊	420,000	429,691		
(2) 同窓会名簿作成	0	0		
(3) 記念品作製	0	0		
事務費	340,000	8,542	役員会案内発送代を含む	
(1) 通信費	300,000	8,212	領収書	
(2) 消耗品	20,000	330		
(3) 雑費	20,000	0		
入学式	7,000	0		
(1) 旅費	7,000	0		
卒業式	307,000	204,870		
(1) 旅費	7,000	0		
(2) 記念品・花束	300,000	204,870		
大学支援金	500,000	357,609	(大学支援金内訳)	
その他	50,000	0	オープンキャンパス: 18,000円	
支出小計	1,774,000	1,037,112	図書館の資料購入: 249,593円	
次年度繰越金	484,123	1,224,388	卒業生アンケート調査: 55,826円	
支出合計	2,258,123	2,261,500	助産師交流会: 21,800円	
			退職教員花束: 12,000円	
			進路動向調査郵送: 390円	
積立金				
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000		
百十四銀行	3,005,476	3,005,527		

収入の部			内訳	
	3年度予算額	2年度決算額		
会費収入	2,220,000	1,835,000	新入会員93名(在校生2名含む)	
雑収入	500	7	利子等	
繰越金	1,224,388	422,623		
積立金からの移動	0	0		
その他	0	3,870		
合計	3,444,888	2,261,500		
支出の部				
会議費	260,000	36,400	総会 0回	
(1) 総会	160,000	0		
会場代	10,000	0		
講演費	100,000	0		
軽食代	30,000	0		
雑費	20,000	0		
(2) 役員会	100,000	36,400	役員・評議員会 3回	
旅費	40,000	14,000	役員会交通費	
軽食代	60,000	22,400	延べ60名	
事業費	420,000	429,691		
(1) 会報誌発刊	420,000	429,691		
(2) 同窓会名簿作成	0	0		
(3) 記念品作製	0	0		
事務費	340,000	8,542	役員会案内発送代を含む	
(1) 通信費	300,000	8,212	入学式アルバイト代他	
(2) 消耗品	20,000	330		
(3) 雑費	20,000	0		
入学式	7,000	0		
(1) 旅費	7,000	0	会長旅費他	
卒業式	307,000	204,870		
(1) 旅費	7,000	0		
(2) 記念品・花束	300,000	204,870		
大学支援金	500,000	357,609	(大学支援金内訳)	
その他	50,000	0	オープンキャンパス: 125,000円	
支出小計	1,884,000	1,037,112	保健師交流会: 25,000円	
次年度繰越金	1,560,888	1,224,388	助産師交流会: 50,000円	
支出合計	3,444,888	2,261,500	図書館の資料購入: 250,000円	
			臨床検査学科卒業生交流会: 30,000円	
			退職教員花束: 6,000円	
			(その他) クラス会開催助成: 50,000円	
積立金				
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000		
百十四銀行	3,005,527	3,005,527		

令和2年度監査報告書	
令和2年度香川県立保健医療大学同窓会事業報告及び収支計算書	
に基づいて会計帳簿、証書書類、貯金通帳、関係書類等をもとに監査した結果、会計処理が適正に運営・管理されていることを確認したので報告します。	
令和3年10月22日	
監事 宮川朱美	
松本久美恵	

香川県立保健医療大学 同窓会(翠丘会)役員・評議員名簿 (令和3年度10月29日現在)			
役職名	氏名	回生	区域
会長	松原文子	看専16	高松
副会長	池田繁信	臨専5	高松
副会長	富山清江	看専22	東讃
副会長	松村千鶴	看専19	教員
幹事(会計)	近藤明宏	大学5 大学院4	教員
幹事(会計)	石原留美	看公助30 大学院1	教員
幹事	池亀彰茂	臨床検査学科	教員
幹事	吉井彩芽	大学15 看護学科4年	学生
監事	宮川朱美	臨専9	高松
監事	松本久美恵	看専21	高松
評議員	吉井由美子	看専21	高松
評議員	高木美香	看専31	東讃
評議員	瀧川実穂	看専27 看公助25	高松
評議員	岸本修次	臨専3	中讃
評議員	吉本和子	臨専9	中讃
評議員	小林紀子	短大看1	西讃
評議員	金丸雅子	短大看3	高松
評議員	堀井和世	短大検2	高松
評議員	野口純子	看専19 看公助17	教員
評議員	黒澤千夏	大学15 検査学科4年	学生
評議員	大垣はるか	大学15 検査学科4年	学生

令和3年度事業計画	
香川県立保健医療大学同窓会事業計画	
1. 組織に関する事項	
1) 会員増加対策	
(1) 在校生未加入者への働きかけ	
(2) 新入生に対する入会推奨	
2) 役員・評議員委員会(年2回の開催)	
2. 同窓会活動に関する事項	
1) 会報誌「大樹」発刊(18号)	
2) 香川県立保健医療大学ホームページにおける同窓会コーナーの充実	
3. 在校生に関する事業	
1) 大学委員会への支援(事業担当者から企画書提出)	
(1) 大学図書館への専門図書の購入支援	
2) 大学行事への支援(事業担当者から企画書提出)	
(1) Webオープンキャンパス(継続)	
(2) 保健師交流会(継続) 助産師交流会(継続) 臨床検査技師交流会(継続)	
(3) 新型コロナウイルス感染症対策 助成事業(学生への「食」に対する支援)(新規)	
3) 入学式、卒業式、修了式	
(1) 卒業生、修了生への花束贈呈	
(2) 学生会員への卒業生、修了生への記念品贈呈	
(3) 学生会員への入会記念品配布(トートバッグまたはマグカップ)	

香川県立保健医療大学 同窓会通常会員入会状況 (令和3年10月20日現在)	
歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	156
香川県臨床検査専門学校	348
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,188
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	457
計	2,149
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	67
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	167
香川県立保健医療大学臨床検査学科	244
香川県立保健医療大学看護学科	755
香川県立保健医療大学助産学専攻科 ※	24
香川県立保健医療大学大学院 ※	9
計	1,032
臨床検査学科在学生(うち令和3年度新入会員)	73(22)
看護学科在学生(うち令和3年度新入会員)	218(67)
助産学専攻科(うち令和3年度新入会員) ※	4(4)
大学院(うち令和3年度新入会員) ※	3(0)
計	298
合計	3,646
※助産学専攻科生および大学院生のうち本学の卒業生ですすでに同窓会に加入しているものは除く	

住所変更は、
小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288
FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info